

その困難をかたちに

ISHII SEIKOU
CO.,LTD

CORPORATE PROFILE

Facilities summary

最新の設備と 職人の技術の融合

石井精工ではゴム金型製造・ゴム成形に関して、多種多様な実績を積んでまいりました。その経験から最新の設備と職人の技術を活かして、企業様の新製品を開発段階からお手伝いしております。



■ 設備概要

葛飾工場				[旋盤]					
[マシニングセンター]				浜津鉄工所製					
牧野フライス製	FNC86-A20	2 台		[ワイヤークット]	Sodick 製	KAT 435S	1 台		
	BNⅢ85-A4	1 台				MARK 25 A500W	1 台		
	V56	1 台					1 台		
遠州製作所製	S400	2 台		FANUC 製					
FANUC 製	a-T14iF	4 台		[平面研削盤]					
森精機製	NV5000 a1	3 台		黒田精工製					
[NC 放電加工機]				[プロファイル]					
牧野フライス製	EDNC64	1 台		WASHINO 製	[3D CAD]	GLS-50A	1 台		
	EDNC64H	1 台				SPACE-E	3 台		
[NC 旋盤]				NTT データエンジニアシステムズ製					
YAMAZAKI MAZAK	QUICK TURN SMART 100MS	1 台		VERO JAPAN 製	[CAM]	VISI CAD	1 台		
						wark nc	1 台		
				(汎用機は省略)				セスクワ製	



Rubber die of the highest quality

長年の技術が生み出す 最高品質のゴム金型

弊社の最も得意とする分野であるゴム金型製造。
絶対の自信の裏側には徹底したこだわりがあります。



■ ゴム金型

【お客様の製造環境に合わせ、完全オーダーメイド製造！】

ゴム金型は製造環境によって性能が大きく左右される、非常に高い技術力を要する仕事です。
具体的には下記の環境によって性能が左右されると言われています。

- ・ご使用になる成形機
- ・ゴム製品製造に使う材料
- ・工場内の気温や湿度などの環境 etc.

弊社では上記環境を徹底的にヒアリングした上で、金型の製造に入らせて頂くので、お客様にとっての最高品質を常に提供することができます。



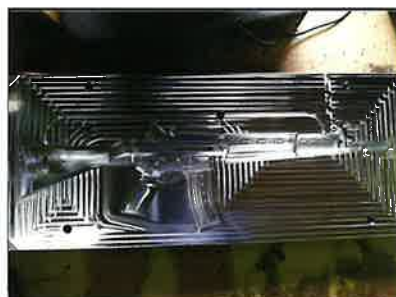
【設計から対応可能なので、正確な図面がなくても対応可能！】

弊社ではゴム金型製造のプロとして設計から製造までを一貫で対応しております。
最終的に作りたいと考えている製品をお伝え頂ければ、手書きのイメージからでも設計が可能です。
初めてゴム金型製造を依頼するお客様でも安心してご利用頂けます。



【最高品質の金型製造への徹底的なこだわり！】

上述したようにゴム金型の製造は非常に高い技術力を要します。
よって、業者によって製品の仕上がりに非常に大きな差が出るのが現状です。
技術力の低い業者に頼むと、「成形機から製品を取り出せない」、「異常にバリが出る」といった品質の低いゴム金型が出来上がってしまいます。
このような金型を使っの事は非常に多くの後処理作業が発生し、効率が良くありません。
弊社では、貴社の製造効率を最大限に高められる金型を提供することで貴社の製造品質および製造コスト競争力の向上に寄与して参ります。



New product development support

ゴムを知り尽くしたプロによる 新製品開発のご支援

様々な業界の会社様からの商品開発の仕事を承り、
ゴム製品製造のプロとして数多くの提案を行っております。



商品開発支援事業



製造プロセスのご提案による生産コスト削減

製品の製造はロット数によって、最小コストに抑えるための製造方法が異なります。弊社は製造のプロとして、最もコストが抑えられる製造方法のご提案を行うことで、貴社の生産コスト削減に大きく寄与いたします。

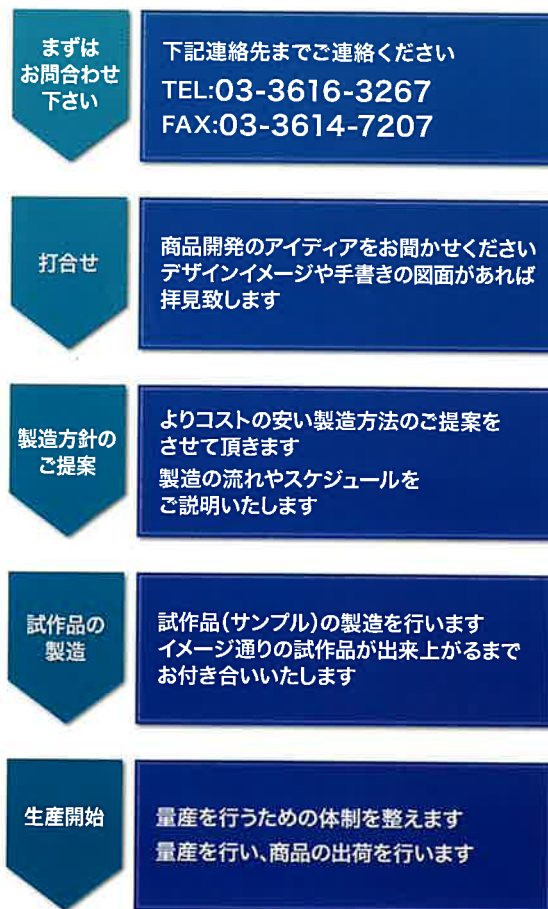
アイディアさえあればOK！弊社が御社の製造部門となります

弊社では、手書きの図面や、図面さえ無くアイデア一つで相談にお越しになるようなお客様の対応を数多く行って参りました。その経験を活かして、弊社が御社の設計製造部門の代りを果たすことが可能です。

ゴムという材質を活かした素材転換のご提案

最近の材質改良により、ゴムも耐久、耐熱、無害など様々な機能をもつようになって参りました。そのゴムの特性を最大限に活かした素材転換等のご提案をすることができます。今までは金属やプラスチックで作っていた製品をゴムにした場合、どのような製品改良を行うことができるか、、、可能性のある方は是非一度ご相談を！

商品開発支援事業の流れ



職人気質からの脱却 新しいコンセプトの金型屋を目指す

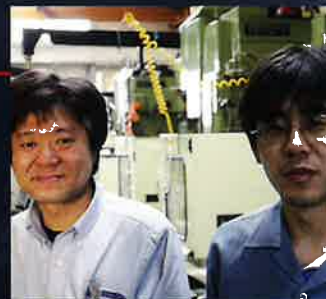
弊社は職人気質の高い金型屋ではなく、一人一人の社員が経営者意識を持って働くことのできる新しいコンセプトの金型屋を目指しています。

それは大量消費の社会から多様な価値観やニーズが溢れる社会へと変化していく中で、本当に良い製品を創り上げるには、全ての社員がお客様の要望にお応えし、長く付き合える関係を築くことが必要となるからです。

その為、弊社社員には製造だけではなく、営業、設計、技術など全ての分野に対応できるオールマイティな人材を目指すよう、常に教育指導しております。

そのお陰で社員一人一人が強い責任感とやりがいを持って働くことができ、高いお客様満足を得ることが出来ています。

代表取締役社長 石井隆司



■ 会社概要

商 号： 株式会社石井精工
創 立： 昭和34年10月
資 本 金： 1000万円
所 在 地： 本社
〒131-0041
東京都墨田区八広4丁目11-9
TEL:03-3616-3267
FAX:03-3614-7207
葛飾工場（問合せ先）
〒124-0006
東京都葛飾区堀切1丁目33-9
TEL:03-3694-7100
FAX:03-3694-7101

業務内容： ゴム・プラスチック金型製造
ゴム製品・金属製品製造

■ 会社沿革

昭和34年： 東京都墨田区八広にて、石井利之が部品加工業を始業。
昭和38年： プレス金型製造を始める。
昭和42年： 株式会社 石井精工を設立。東京都墨田区八広に工場新設。資本金 200万円。
昭和43年： プラスチック金型製造開始。
昭和51年： 資本金500万円に増資。
昭和55年： ゴム金型製造にあたり、NCフライスを導入。
昭和56年： NC放電加工機を導入。
昭和59年： NC放電加工機の2台目を導入。
昭和61年： マシニングセンター及びNCフライスを各1台導入。
昭和63年： ゴムインジェクション金型、プラスチック金型の製造技術の高度化、合理化追求の為3次元CAD・CAMシステムEWSを一早く導入。
平成元年： 資本金1000万円に増資。マシニングセンター(FNC86)を1台導入。
平成2年： マシニングセンター(VF CENTER)を1台導入。
平成5年： ワイヤークット(a-1B)を1台導入。
平成7年： 茨城県小川町に石岡工場(第2工場)を設立。マシニングセンター(S400)を2台導入。
平成12年： 石井利之が代表取締役社長を辞任。石井隆司が代表取締役社長に就任。
平成13年： 本社工場の放電加工機を1台入れ替え(EDNC64)。
平成16年： 石岡工場(第2工場)を東京都墨田区東墨田に移転。
平成17年： 本社工場に、マシニングセンター(V56)を1台導入。
平成18年： 第2工場に、マシニングセンター(NV5000 a1)を1台導入。
平成19年： 第2工場のオークマ製マシニングセンター2台と森精機製マシニングセンター(NV5000 a1)2台を入れ替え。
平成20年： 本社工場に、マシニングセンター(a-T14iF)を1台導入。
平成23年： 第二工場に、マシニングセンター(FANUC製a-T14 iF)を1台導入。
平成25年： 第二工場に、MAZAK製 QUICK TURN SMART 100M Sを1台導入。
平成26年： 新工場 葛飾工場を設立。 本社工場・第二工場を新工場に集約し規模拡大へ。



株式会社 石井精工